

日頃の教育に対する工夫、及び今後の教育への抱負

建築・都市環境工学科 西本雅人

「THE TEACHER OF THE YEAR」を頂き、ありがとうございます。またこの賞を受賞できて嬉しいです。選んでくれた学生のみなさん、そして教員のみなさま、この場を借りてお礼申し上げます。この賞を一番初めに受賞した年に「福井大学の学生の建築力を北陸で一番にしたい！」と冒頭に書きました。それから、3年…。福井大生が2つの建築のコンペで最優秀賞をいただきました！一つは北陸地区限定の「北陸の家づくり設計コンペ（オダケホーム 主催）」、もう一つは全国規模の「未来こども園デザインコンペ（ユーエス計画研究所 主催）」です。どちらも素晴らしい作品です。受賞した学生たちにはおめでとうと心から讃えたいです。

今年は「福井大生で一番を取ろう」と学生たちが頑張ってくれた努力が実って本当に嬉しい一年でした。この成果は一人の天才がいたから達成できたわけではありません。学年ごとに建築好きな学生が集まり、切磋琢磨して全員の建築力が底上げしたからこそ一人一人の才能が伸びていきました。学生が集まることのできる環境や雰囲気を整備することが教員としての僕の役目だと思っています。今年取り組みを2つ紹介させていただきます。

「製図室の環境整備」

学生が一番集まる場所が製図室です。その製図室のレイアウトを今年の3月に思い切って変えました。学生の荷物置き場を南側から北側に移動して、学年別に棚を用意して荷物を整理しやすくしました。南側のブースは全て学生が使える場に変更しました。やはり明るい場所で作業した方が気持ちが良いですね。そして、共有スペースに書架をおいて、建築雑誌をいつでも自由に手にすることができるようにしました。雑誌の紛失のリスクもありますが、学生が常に最新の建築を見ることができるメリットの方が高いと考えたからです。製図室の環境はまだまだ十分とはではないので、過ごしやすくなるようにこれからも改善をしていきます。

「授業の見逃し配信、サブ動画の配信」

COVID-19の影響でオンライン化が加速し、授業の動画を一式作成できたことは大きなメリットでした。対面授業となった今年は授業後に昨年の動画をグーグルクラスルームにその都度アップしてました。休んだ時や分からなかった時の復習用に使えればよいと思ったからです。授業の動画の工夫として、「15～20分の短い動画にすること」「自分の顔は表示すること」です。参考にしたのは勉強系のYouTubeです。最近の勉強系のYouTubeはすごいですね。編集も凝っていてとても分かりやすいです。今後はそれらを視聴してきた学生が僕の授業を聞くことになると思うので、より一層分かりやすい授業になるようにしていきたいと思います。

また、90分の授業では説明できない内容、例えばCADの操作方法を動画で配信することを始めました。以前は独学で勉強するしかなかったCADの操作を動画配信によって説明することができるようになりました。いろいろな情報を学生に伝えやすくなりましたので、これからも僕がこれまで経験した建築の知識を学生たちに伝えていきたいです。